

委員からのご意見

意見

環境教育の拠点・機能の充実と連携の推進

環境教育を実践する場として整備された「ねいの里」の施設は、昭和56年オープン以来本格的な改修がないまま推移している。

環境問題の関心を高める役割先導役にナチュラリストの存在がある。ナチュラリストは、ねいの里において、その務めをしている。今後は、ナチュラリストの活動時期を現在の春4月から10月を一年を通してできるようにする。

ねいの里の自然の中で、環境教育をもっと充実させるために、老朽化した施設を見直し、全国的にも模範となるような場所にしていく工夫が必要である。

具体的には、次の通り

- ① 自然とのふれあいの中で、単一の生物でのみでなく多種の生物が混在して生きている様子を見せる施設の充実。
- ② 低年齢での体験が大切であり、特に小学校低学年を対象にした自然教室として活用してもらえるよう保育所や小学校などへ働きかける。
- ③ 親や祖母等への働きかけの仕組みづくりの構築

富山県生活環境文化部環境政策課 塚本 あて (FAX 076-444-3480)

平成 28 年度第 1 回富山県環境審議会環境教育小委員会に関するご意見 (記入様式)

お名前 茶木 勝

ご意見の内容	理由
<p>この度は貴重な機会に参加させて頂き有難うございました。 様々な分野での取り組みや課題が少しとは思いますが共有されました。 なかでも ESD への取り組みや情報共有にも課題はあるようでした。 その中で「富山ならではの環境教育の推進とツール作成」、そして「中間支援組織の必要性」を感じましたので僭越ながら以下に記載します。</p> <p>(ESD) <u>富山ならではの教育ツールの必要</u>があるのではないか。 教育現場では、適当な教育ツールがほしい、興味がない人、本当に来てほしい人に興味を持ってもらう必要があるというご意見がありました。 富山県は 3000m 級の立山連峰や深海 1000m の富山湾、それをつなぐ急流河川や扇状地が産みだす、素晴らしい自然資源があります。 そこで富山県ならではのコンテンツ、子供たちだけではなく親や若年層の社会人にも親しみやすい教育ツール、体験プログラム等があればよいかなと思いました。</p> <p>(中間支援組織) 富山県には環境保護や ESD に関する活動を取りまとめたり活動を横軸でつなげたりする民間の機能が少ないのではと感じています。自分達と同じ目線の<u>民間中心の支援組織があってもよいのでは</u>と思います。そのことにより情報共有や協働活動が活発になり活動の見える化にもつながれば興味を持つ人、参加する人も増加するなどの効果も得られると思います。</p>	

おそれいりますが、12月2日(金)までにご提出いただけると幸いです。

[送付先・問合せ先]

富山県生活環境文化部環境政策課

企画係 塚本

TEL 076-444-3141

FAX 076-444-3480

E-mail satoru.tsukamoto@pref.toyama.lg.jp

意見

金沢大. 松本謙一

ESD講座の組織運営について

現在、富山市教委が事務局とやっている

(設立時、エネスコスクール
富山市中心にたつた)

エネスコスクール(含む申請中)は現在

- ・富山市(小.中高)
- ・~~射水市~~(小)
- ・高岡市(小)
- ・氷見市(小)
- ・南砺市(小)

と、4市に存在する
ように増えた

提案 事務局を富山県(環境政策課+県教委)

たてまの解消を!

こんな
組織が必要
であると云える

東西事務所
|
エネスコスクール
あり
市町村教委